



「主の愛に結ばれ、共に歩む喜びを分かち合いましょう」

教会委員長 相河 竜治

主の平和が、皆さま一人ひとりとともにありますように。

2年前より、教会委員会では「例えば、初めて教会にいらした方の目に私たちはどう映っているか」という問いを大切に活動しています。「皆が生き生きとしていて、笑顔が輝いている」「親切に声をかけてもらい、また来たいと思った」そう感じていただける教会でありたいと願っておりました。そして、この2年を通して私たちはそのようになってきているのではないのでしょうか。教会には笑顔があふれ、お互いに声を掛け合い、愛に満ちた教会になってきているのを実感しています。それは私たちの信仰が深まり主の愛が聖霊を通して私たちの中に満たされ、互いへの愛が深まったからだと思ひますし、外国語信徒の皆さんが教会で会ったときに笑顔でハグをしている姿を身近に見ていることも影響していることでしょう。また、芹沢神父様の温かなお人柄によるところも大きいと感じています。

教会活動において最も大切なのは、表面的な成果ではなく、「そこに愛があるか」「信仰が深まっているか」「聖霊は働いているのか」という点です。聖霊に信頼して失敗を恐れず新しいことに挑戦し、そこから学び、より良い教会を共に創り上げていきましょう。

今年度の重点活動として、特に以下の三つの柱に注力してまいります。

1. 喜びをもって集い、信仰の深まる教会へ

現在、私たちの共同体は日本人信徒の高齢化が進む中でも活躍している一方で、外国語信徒が力強い活力となっています。

- **多文化の共生**： 典礼や諸活動への外国語信徒の皆様への参加を促し、対話を通じて互いの理解を深めていきましょう。
- **笑顔の交流**： 復活祭のパーティーや敬老の集い、子どもたちを含めて外国語グループの信徒の皆様も日本の信徒の皆様も楽しく交流できる場の開催など、誰もが「楽しい」と感じる機会を大切にします。
- **愛の声かけ運動**： ミサ前後の笑顔の挨拶はもちろん、最近足が遠のいている方へ手紙や電話で「愛の連絡」を届け、互いを思いやる輪を広げましょう。

2. 学びと招きの充実

信仰の土台を固めるため、カトリック入門講座や聖書の学習会をさらに充実させてまいります。特に、カトリック入門講座では洗礼志願者とともに、日本人の信徒だけでなく外国語信徒も参加していただき、ともに互いの信仰を深めることができるように働きかけて参ります。また、ご家族や知人、しばらく教会を離れている方々を、ぜひ「一緒にミサに与りませんか」と温かくお誘いください。

3. 堅信式を豊かな信仰の節目に

10月4日(日)に行う堅信式を成功させたいと考えています。ここでの「成功」とは、華やかな式典にすることだけではありません。受堅者や参加するすべての皆様のご信仰が、聖霊の導きによって一歩深く、確かなものになることを目指します。

また、今まで通り、ブロックを教会活動の基礎単位と位置づけ、ブロック内での交わりを深めるように取り組んで参ります。

私たちは常に祈りを通して、「主イエス・キリストが今、私たちに何を求めておられるのか」を問い続けていきたいものです。主の愛を礎に、聖霊を心に宿し、一人ひとりの笑顔が輝く甲府教会を共に歩んでまいりましょう。

これからも皆様の上に主の豊かな祝福がありますようお祈り申し上げます。





おしらせ



1 2026年度 信徒大会

2026年2月8日(日)11:40 ~ サンタルチア講堂にて「2026年度信徒大会」が行われます。皆様、是非、ご参加ください。

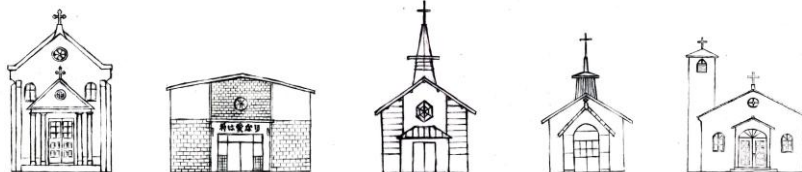
2 典礼委員会

1月25日(日)から2月15日(日)まで『灰の水曜日』(2/18)に使用する灰作りのための枝を回収します。期間中、聖堂の入り口に回収箱を設置しますのでそちらに入れてください。

※サンタルチア講堂での御聖体拝領は2列で行います。ご協力お願いいたします。

3 地域福祉委員会

山梨地区共同宣教司牧委員会 (自ら神の愛を証する力を育てる部門)学習会が行われます。3月8日(日)14時~ 会場は甲府カトリック教会のサンタルチア講堂です。参加申込み〆切りは3月1日です。大勢の方の参加をお待ちしております。



各委員会の日程

女性会	2月 1日(日)	11:40 ~	ドミニコの部屋
きずなの会		お休み	
地域福祉委員会	2月15日(日)	11:40 ~	センターホール
典礼委員会	2月21日(土)	9:30 ~	センターホール
広報委員会	2月22日(日)	11:40 ~	センターホール
聖歌隊	2月 1日・15日	9:00 ~	聖堂

四旬節黙想会についてのお知らせ

四旬節黙想会を指導して下さるのは、私たちが毎週ミサでお世話になっている「聖書と典礼」を発行しているオリエンズ宗教研究所の所長でいらっしゃいますオノレ・カブンディ神父様です。オノレ神父様は、コンゴ出身で、現在、淳心会司祭・修道院長であり、また東京レジア指導司祭、白百合女子大学と清泉女子大学非常勤講師をいらっしゃいます。

四旬節黙想会の指導司祭としてお願いしたときも、様々な教会に黙想会の指導司祭としておいでになることが決まっております、唯一、神様の御心で3月7日（土）だけが空いております、そこで甲府教会の指導をお願いすることができました。貴重な機会ですので、皆様、是非、ご参加ください。

記

1. 日時：2026年3月7日（土） 午前10時～
2. 会場：甲府カトリック教会 聖堂
3. 指導神父様：オノレ・カブンディ神父様（オリエンズ宗教研究所所長、淳心会司祭・修道院長、東京レジア指導司祭、白百合女子大学と清泉女子大学非常勤講師）
4. 黙想会のテーマ：『キリストの受難と人生における苦しみの問題』
5. 日程
 - (1) 第一講話：10時00分～11時00分
 - (2) 黙想時間：11時00分～11時30分
 - (3) ゆるしの秘跡：11時30分～12時15分
 - (4) 昼食：12時15分～13時15分
 - (5) ミサ：第二講話（説教の中で）13時15分～
6. 対象者：甲府教会信徒、他教会信徒、洗礼志願者
7. 持ち物：簡単な昼食（センター1階ホールでお茶をお出しします）
8. 参加申込期限及び方法
 - (1) 期限：2026年3月1日（日）
 - (2) 申込方法

センター掲示板の申込用紙にご記名ください。

四旬節の「愛の献金」

四旬節は、復活祭46日前の水曜日（灰の水曜日）（2月18日）から聖木曜日（4月2日）のミサ前までの期間です。聖堂入口の「四旬節 愛の献金」（緑の封筒）に献金を入れ、月定献金の箱に主日のミサのある日にお入れ下さいますようお願い致します。

「四旬節 愛の献金」は、日本カトリック司教協議会がキリスト信者にとって教会の要請に応じる義務として制定した8つの「献金」の1つです。

教皇は毎年、四旬節に向けてメッセージを発表（カトリック中央協議会のサイト）し、キリストを信じるすべての人が四旬節の精神をよく理解して、回心と愛のわざに励むよう呼びかけます。この呼びかけにこたえて日本のカトリック教会は、虐げられ、差別され、見捨てられ、いのちの危機にさらされている人たちの共感を大切にしよう一人ひとり訴えるとともに、四旬節中の「愛の献金」を奨励しています。この「愛の献金」は、各教区を通して、カリタスジャパンに集められ、国内外の最も援助を必要としている人々の自立やいのちを守る活動に使われます。

平和を求める祈り

平和の源である神よ、今なお激しい戦闘が続く〇〇〇（国や地域の名を加える）では、平和を望む多くの人々が犠牲となっています。苦しむ人、虐げられている人を支えてくださるあなたに祈ります。国々の指導者を正しく導き、憎しみではなく愛を、争いではなくゆるしを、分裂ではなく一致を求める心をお与えください。住む家をなくし、恐怖と不安の中での生活を強いられている人々をカづけ、心と体に安らぎをお与えください。すべての人に、争いや暴力を退け、平和を実現しようとする強い意志をお与えください。

いつくしみ深い神よ、この世界に聖霊を豊かに注ぎ、敵対する人々の心から怒りの炎を消し去り、絶望にあえぐ人々の心に希望の火をともってください。あなたが望まれる和解と平和が、一日も早く実現しますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。
アーメン。

（2014年9月4日 常任司教委員会承認） ©日本カトリック司教協議会



今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



2月 1日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第4主日	10:30 14:00	ミサ えいご 英語ミサ（English）
2月 6日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ
2月 8日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第5主日	10:30 11:40 13:00 15:00	ミサ しんとたいかい 信徒大会 ベトナム語ミサ（tiếng Việt） ポルトガル語（Português）
2月15日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第6主日	10:30 12:30	ミサ かんこくご 韓国語ミサ（한국어）
2月18日（水）	はい すいようび 灰の水曜日	10:30	ミサ
2月22日（日）	しじゅんせつだい しゅじつ 四旬節第1主日	10:30	ミサ
3月 1日（日）	しじゅんせつだい しゅじつ 四旬節第2主日	10:30 14:00	ミサ えいご 英語ミサ（English）
3月 6日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ

にほん せいじんじゅんきょうしや しゅくじつ
日本26聖人殉教者 祝日（2026年2月5日）

日本26聖人の1人、パウロ三木は1564年から1566年の間に生まれた。イエズス会に入会して福音を宣べ伝え、大きな成功を収めた。やがてキリスト者に対する迫害が激しくなると、他の25人と共に捕らえられ、残酷に扱われて嘲笑を受けた。そして、ついに長崎に連行され、1597年2月5日、はりつけにされて殉教した。日本26聖人は、20名の日本人、5名のスペイン人、1名のポルトガル人である。彼らは1862年6月8日、ピオ9世教皇によって列聖された。